

自分のための学習・自分に合った学習

3月1日（火）～5日（土）まで『家庭学習ノート展』が玄関ホールで開かれています。この取組のねらいは、以下の通りです。

☆レベルアップを目指して取り組んできた家庭学習のノートを紹介することにより、達成感や満足感を味わう。仲間とノートを見せ合い、今後の課題を見つけ、家庭学習に対する意欲をもつ。

1年生から5年生まではクリアファイルに入ったコピー、6年生はそれぞれノート一冊が展示してあります。登校時、休み時間等に自然に立ち止まって、他の子のノートを見る姿を見かけます。こういう姿こそ、求める姿、ねらいに迫る姿であると言えます。

ノートを見ると、丁寧な字で書かれた繰り返しの漢字練習、各教科のポイントまとめ、テスト対策、テスト直しが多いようです。中には、新聞を活用した学習に取り組んでいる人もいます。

『自分にとっての効果的な学習方法』＝『人がやっている学習方法』ではありません。また、効果的だと思っていた方法も、ずっと続くとは限りません。

中学校になってテスト結果を目の当たりにした時、進路という現実が見え始める頃、「さあ、そろそろやるか！」と思ってやり始めようとしても、なかなかできません。また、一生懸命やっても、結果に結びつかないことはよくあります。

顕著な例として、一生懸命時間をかけて取り組む、丁寧な字でノートに記入し、答え合わせまでしっかりやっても結果につながらないという姿をよく見ます。これは、目的が『丁寧なノートづくり』『提出用のノートづくり』になっていて、自分が覚える、理解するというためのノートにはなっていないからです。漢字練習の際の『丁寧な字』は必要ですが……。また、簡潔にまとめる、ポイントをまとめる、という学習は、ともすると、「覚えたつもり」になっていることがあります。

今回の『家庭学習ノート展』を通して、自分の学習の仕方を振り返るとともに、仲間の取組内容から取り入れてみたいことがあれば、まずはやることです。試行錯誤を繰り返しながら、自分にとって効果的な学習方法を探っていくことがとても大切だと言えます。



(5・6年生の部)



(1～4年生の部)